

# 設定がコミットされた後、URL カテゴリの警告ページが最大 90 秒遅延する

## 目次

[質問：](#)

## 質問：

1. 特定の Web サイトで URL カテゴリ警告がすぐに表示されないのはなぜですか。
2. ユーザがブラウズしている間に URL カテゴリ警告が有効化されると、警告ページが最大 90 秒間表示されないことがありますか。

環境： Cisco Web Security Appliance ( WSA )、すべての AsyncOS バージョン

## 症状：

- 「Warn」ポリシーアクションを有効にした直後に、特定のブラウザおよび Web サイトでは警告ページが最大 90 秒間表示されません。
- ユーザがブラウズしている間に警告ポリシーを有効にすると、最大 90 秒間、警告ページがブラウザに表示されないことがあります。

## 例：

ユーザが cnn.com などの Web サイトを参照しているときに、アクセスポリシーで「News」カテゴリが「Warn」に設定されます。このユーザがブラウザを閉じずにブラウズを続けると、変更がコミットされた後の約 90 秒間、Web サイト ( cnn.com ) に「警告」ページが表示されません。

この問題は通常、Web サイトのデータと情報がブラウザでキャッシュされる場合に発生します。コンテンツがブラウザにより「キャッシュ」されると、ブラウザはキャッシュからデータを直接提供し、WSA プロキシ経由の要求が行われなため、「警告」ページが表示されません。

この場合、ユーザがブラウザの表示更新ボタンをクリックすると、警告ページが正しく表示されます。さらに、ブラウザのキャッシュがクリアされてページが再び要求された場合にも、警告ページが表示されます。

注： この動作はすべての Web サイトおよびブラウザで発生するわけではありません。ほとんどの Web サイトでは、WSA が「Warn」に設定された直後に警告ページが表示されます。